

# 上北沢桜並木通信 第9号

## 福音寮の児童達に感謝の集い

昨年12月17日、いつも元気よく桜並木の清掃を手伝ってくれた「福音寮の子供さん達」に感謝する恒例のお汁粉会を区民センターで催しました。

「福音寮」は、敗戦後間もない昭和20年に、地元の篤志家堀内キン女史が、戦前から桜上水にお住まいのヘレンタッピング宣教師はじめ大勢の協力者の力を得て開設したのが始まりです。当時、空襲で焼け野原となった都内には、家や家族を失った子供達が大勢いました。キン女史はそうした子供達を自分でこの地に連れて来て、献身的に世話をしました。後に元駐留軍のニコラス牧師ほかの協力を得て、設備も拡充し、社会福祉法人となりました。今では、家庭の事情などからこの寮に入った人も含めて50人近い子供達が元気に育っています。

当日集まってくれた子供達は15人、阿弥陀くじでチョコレートを当てたり、桜並木会議女性会員の心尽くしのお汁粉や磯部まきなどを食べながら楽しいひと時を過ごしました。最後に、子供達は礼儀正しくお礼の挨拶をして帰って行きました。



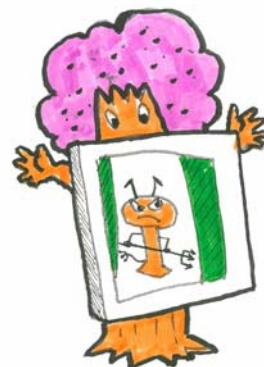
12月23日には、福音寮で行われたクリスマス会に桜並木会議のメンバーが招待され、福音寮の子供達との交流がさらに深まりました。

また、平成18年度も子供達の元気な声が桜並木に響きわたり、私達に元気を与えてくれることでしょう。(石井 昭)

## 桜の「不定根」による世代交代

上北沢桜並木を通ると、幹にグレーのシートでぐるぐる巻きにされた桜を何本か見かけることでしょう。これは、幹から出てくる「不定根」という根を出させて、傷や老化によって弱った幹を再生させようとしているのです。

上北沢桜並木は、大正 13 年 (1924 年) に、この地が開発分譲されるのと同時に植えられ、約 80 年が経過しています。2004 年 4 月に NHK の「クローズアップ現代」が、近年各地で枯れ始めたソメイヨシノの再生技術を集めて特集していました。全国の桜の名所 100 ヶ所を対象に「(財)日本サクラの会」が行ったアンケートによれば、樹齢 40~80 年のものが 66% を占め (80 年以上 23%)、全体の 75% に枯れが目立つとのことでした。(次頁へ続く)



桜は<寿命60年説>というのがあるくらいで、寿命があります。その上、ソメイヨシノは園芸種なので、病害虫に弱く、手間がかかります。この老化を放置すれば、やがて枯れてしまいます。桜が枯れて死んでしまう前に、世代交代を行う必要があります。もちろん、枯れて死んでしまえば植え替えることも出来ます。しかし、桜には「いや地」という性質があって、同種の桜を植えることを嫌います。そこで、老木をさらに生き延びてもらうために、いろいろな桜再生の方法が考えられています。「不定根」による桜再生がその一つです。これによって桜は世代交代を行う事が出来ます。

現在、上北沢桜並木では、「不定根」による桜木の再生を行っています。10年ほど前の写真を見ると、竹の胴巻き（下の写真は1994年当時の桜並木）をしているのが見られます。



この時は、シートで巻いてはいなかったようです。4-5年前から、現在の胴巻きを試みているようです。幹が朽ち果てる前に、空洞部分や窪みを比較的水分を保持しやすい状態にして、不定根を出させ、やがて古い幹が、不定根に替わって幹になっていくことによって世代交代を行っています。

一昨年秋6本、今年2月さらに6本の胴巻きを開けました。開けてみると、

胴巻きの中は、発芽を促進するために特殊な栄養を持った土がすでに根によって吸い取られ固くなっています。透明のビニール（右写真）でしっかりと水分が蒸発しないように巻かれ、さらにその上に繊維質のシートで巻かれています。この胴巻きによって、見事に、不定根が、出て、次の世代へとバトンタッチがなされているのを確認しました。

しかし、「不定根」が出てくるという意味は、桜の成長のための環境がいかに劣悪かということをお話しています。その環境を良くしてあげたいのです。これは人間のためにも優しい環境になるはずです。桜が生きられない環境に人間も快適に住んでいくことは難しいのです。まず、車が幹（下の写真は車による傷）を傷つけないように運転



者をお願いしたいものです。














そして、根の成長が、人によって踏み固められたり、障害物に突き当たったりして阻害されると、根は行き場を失います。せめて、桜の根元には人が立ち入らず自転車を置かないようお願いしたいのです。

青森県の「弘前城の桜」はソメイヨシノで120年の樹齢を誇っています。育つ環境こそ違いますが、上北沢の桜はまだまだ生き延びる事が出来

ます。桜並木を通る人達が、満開の花だけでなく、胴巻きをはずした幹や根元をちょっと見てください。桜の木が生き生きとがんばっている姿を発見する事が出来ますよ。（佐藤信二郎）



## 胴巻き撤去と不定根の確認（実施日：2006年1月28日）

区番号	樹木 No.	胴巻きを撤去する前	状況・作業の内容／対策	胴巻き撤去作業と不定根確認	胴巻き撤去作業後
9	BCe7		<p>日当たりが良いので枝ぶりは良い。花芽もついている。車に何回もぶつけられているので、傷んでいる。胴巻きの中は空洞もある。</p> <p>桜の状況からみれば、胴巻きをはずしても良いが、車から守ることが先決。再度胴巻きをして、運転者の目線に注意を喚起するテープを巻く。</p>		
16	CDe7		<p>1-2年で枯れる可能性がある。ナラタケモドキにかなりやられている。根がナラタケに攻撃されている。花芽は先端しかついている。疲れきっている。</p> <p>全体を小さくすることで、樹勢を回復させる。胴巻きははずす。</p>		
29	DEw1		<p>枝を見ると若返っている。幹のほとんど材がなくなっている。根一本で持ちこたえている。上部の枝を切っているので、バランスが良くなって倒れる危険は少ない。傾いた内側にきのこがたくさん出ている。これは、腐った材だから、きのこ(カワウソダケ)が発生している。</p> <p>軽くすることが、最もこの木の再生に役立つ。だめな枝を落とし、良い枝を残していく。この方法が今後養生している間大切。上部は胴巻きははずす。下部だけ、空洞部分をカバーする。</p>		
38	BCw6		<p>細い根が、茶色に染まって、敷き詰められている。岡だんご虫、ゴキブリがあらわれる。大きな損傷は見られない。胴巻きの効果で樹勢は回復した。横に古い損傷の箇所を発見。太い根(不定根)が発生した状況は無い。</p> <p>胴まきは撤去する。</p>		
44	ABw7		<p>ビートモス入りの胴巻きが有効だ。枝ぶりが悪い。このまま元気な木になるには形が悪すぎる。幹に欠陥を持ってしまった木は、時間をかけていけば、並木に適した木として良くなる。</p> <p>胴巻きを必要とする箇所は、空洞のある場所や根に近い所。空洞の中に根が誘導され地面に着くことが一番望ましい。枝をまっすぐにしていって剪定を繰り返して、5年後、10年後養生をしていけば良くなる。上まで胴巻きをかけると水分が込み込まないので、下部だけ巻きなおす。ビートモスをいれて、発根を促す。</p>		
45	ABw6		<p>空洞にビートモスの詰め物をしてある。ビートモスが機能している。幹コルクが回りこんでいる。こぶが出ているのは、良い。細かい根がみんな乾いて、生きている根は少ない。空洞の中に根が出ている可能性あり、枝、芽はよく出ている。途中いい根が出ているが上に巻き込んでいる。ヤモリが越冬している。直径2cmの不定根が発育している。下にしっかりとのぼして、地面にしっかりと来ている。</p> <p>下部だけ胴巻きをする。誘導しなくてもいい根ができています。</p>		

## 定例会・日曜ミーティングにご参加下さい

— どなたでも参加でき、意見交換ができます —

●定例会：毎月第2火曜日 18:30～20:30

●日曜ミーティング：毎週日曜 10:00～12:00

〔毎月第1週目は、桜並木の清掃を  
10時から10時30分まで行います〕

場所は、概ね上北沢区民センター会議室です。

詳細はホームページを参照してください。[\(http://www.sakuranamiki.org/\)](http://www.sakuranamiki.org/)



## 桜並木の維持管理については、区と協働して行ってきました

いままでの区担当部署は、烏山総合支所土木課・まちづくり課でした。

この4月以降、区の窓口が以下ようになります。

本庁（城山分庁舎）：土木事業担当部工事二課土木計画課

（TEL5432-1111） みどりのみず政策担当部公園緑地課

出先：烏山総合支所街づくり課（TEL3326-9618）

烏山土木公園管理事務所（TEL3308-8133）



## 定期的にまちの行事に参加しています

●上北沢桜まつりへの参加

過去2回は写真展示とアンケート調査、さらに、昨年はお菓子、Tシャツ等の販売を行いました。

今年も昨年と同様にパネル展示といろいろなものを販売します。

●上北沢文化祭への参加

過去2回は、写真展示と石井樹木医の講演を行いました。



## 法人会員のご紹介

“おがわ整骨院”が、このたび桜並木会議の法人会員となっていただきました。

入会に際して、院長から「地域に密着した活動がドンドン広がると良いですね」と、大変心強い激励を頂きました。

『おがわ整骨院』 TEL：3306-5588

### 上北沢桜並木会議とは？

上北沢の桜並木は、開花時期の美しさもさることながら、季節ごとの変化は見る人の心を癒し、地域にとって誇れる将来に残したい財産となっています。しかし、この桜並木は近年弱りはじめています。この貴重な財産を残すためには、地域のいろいろな人々の意見や知恵を集め、具体的な活動をはじめなければなりません。

上北沢桜並木会議は、並木の維持保全に住民と行政の協働で取り組むとともに、これをきっかけとして地域のまちづくりを考え、「桜を見守るコミュニティ」をつくっていきこうという取り組みです。

連絡先：和田和典 3302-6959 佐藤信二郎 3290-2660